学校番号	413

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅲでは、書道Ⅰ・Ⅱで培った表現力を生かし、個別の作品を制作します。自分に合った表現の方法を探究しましょう。作品は展覧会に出品したり、廊下に展示したりします。仲間と切磋琢磨しながら制作することで、技術を高めていきましょう。また、他者の作品を鑑賞することで、自分とは違う表現の良さを見つけることができます。それをぜひ自分の作品に生かしてほしいと思います。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 書への 関心・意欲・態度	b. 書表現の 構想と工夫	c. 創造的な書表現の 技能	d. 鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	単元・題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7 8 9	漢字の書	・好きな古典をひとつ選択し、画仙紙に臨書する。 ・大阪府高等学校芸術文化祭に出品する。			○	○	a：古典の美とそのよさを理解し、その鑑賞や表現の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：用具用材の扱いや、基本的な用筆方法を理解し、工夫して表現している。 c：基本的な用筆方法や、効果的な紙面構成の方法を身につけ表している。 d：古典の美とそのよさを理解し、創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
10 11 12	漢字仮名交じりの書	・好きな言葉や詩を自分で見つけ、画仙紙に創作する。	○	○			a：作品の構想や、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいる。 b：作品の意図に基づき、表現を工夫している。 c：作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけ表している。 d：互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
1 2 3	卒業制作	全員で分担して、卒業の歌を書く。		○	○		a：用具用材による表現の違いに関心を持ち、その鑑賞や表現の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：書きたい言葉のイメージを明確にし、線質や字形、紙面構成を工夫して表現している。 c：基本的な用筆法や紙面構成の方法を身に付け表している。 d：他の生徒の作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。